

羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称YNCA）が設立！

～さあ走り出せ！自転車愛好家や関係団体が一体となり、サイクルツーリズムを推進～

羊蹄山麓7町村及び自転車愛好家などによる「羊蹄ニセコ自転車走行協議会」が設立され、併せて、北海道のサイクルツーリズム推進についての講演が行われますので、お知らせします。

近年、羊蹄山麓エリアでは、世界的なサイクルレースの大会が毎年開催されるなどサイクリストからの注目が高い地域となっており、国内外から多くのサイクリストが訪れています。

今般、自転車愛好家、観光団体、経済団体及び行政等による、世界水準の自転車聖地を目指してサイクルツーリズムを推進する組織「羊蹄ニセコ自転車走行協議会」（通称YNCA（Youtei Niseko Cycling Association）が、アジア唯一の国際市民レースである「ニセコクラシック」開催日に合わせて設立されます。

今後、羊蹄ニセコ自転車走行協議会では、羊蹄山麓エリアの自転車走行環境・受入環境に関する取組、情報発信及びサイクリストへの啓発などの活動に取り組む予定です。

記

【羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称：YNCA）設立総会】

日時：平成30年7月7日（土） 15:00から

開催場所：タンタ・アン（倶知安町字山田）

（グラン・ヒラフ マウンテンセンター2階（ヒラフゴンドラ山麓駅隣））

実施内容：別紙のとおり

設立主体：羊蹄ニセコ自転車走行協議会 発起人会

※小樽開発建設部では、北海道総合開発計画（平成28年3月閣議決定）にある「世界水準の観光地」を目指すサイクルツーリズム等の振興等に基づき、地域の取組を応援、支援しています。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

※「世界の後志」を目指すため、後志総合振興局とのコラボレーションロゴ「ShiriBeshi」を制作しました。

詳細については小樽開発建設部のホームページをご覧ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

特定道路事業対策官 蛭澤 秀則（電話番号 0134-23-5199）

道路計画課長 瀬能 博之（電話番号 0134-23-5229）

羊蹄ニセコ自転車走行協議会 発起人会

代表 脇山 潤（電話番号 090-2056-5508）



小樽開発建設部ホームページアドレス <http://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>

羊蹄二セコ自転車走行協議会（通称YNCA）を設立します
 ～自転車愛好家、観光団体、経済団体及び行政等が
 一体となりサイクルツーリズムを推進～

<総会日時・場所・内容>

場 所	タンタ・アン（倶知安町字山田）
日 時	7月7日（土） 15：00～
内 容	<p>【設立総会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 設立発起人代表挨拶 3. 来賓挨拶（3名） 4. 仮議長の選出 5. 議事（羊蹄二セコ自転車走行協議会の規約の制定、 会長・副会長の選出、平成30年度事業計画（案）、 平成30年度収支予算（案）） 6. その他 7. 閉会 <p>【基調講演】</p> <p>(1) 「北海道のサイクルツーリズム推進について」 北海道開発局小樽開発建設部 部長 橋本 幸</p> <p>(2) 「サイクルツーリズムの先進事例」 羊蹄二セコ自転車走行協議会 設立発起人 脇山 潤</p>

<会場位置図>



羊蹄ニセコ自転車走行協議会

(通称 Y N C A (Youtei Niseko Cycling Association)) について

協議会設立の背景

◆北海道総合開発計画

「サイクルツーリズム等の振興等により広域的な観光周遊ルートの形成の促進」を施策の1つとしている。

◆自転車利用促進法施行

基本方針の中で「観光旅客の来訪の促進その他の地域活性化の支援」と記載

北海道の魅力を活かしたサイクルツーリズム推進に向けて、

・「北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会」を設立

・モデルルートを設定し、「世界水準のサイクリング環境」を構築

◆北海道自転車条例施行

サイクルツーリズムの推進

◆羊蹄・ニセコエリアの現状

ニセコクラシックなど多くのサイクルイベントが開催され、羊蹄・ニセコエリアのサイクルツーリズムの中核組織が必要

目的

近年、ニセコエリアで多くのサイクルイベントが開催され、国内外から大勢のサイクリストが羊蹄・ニセコエリアを訪れ、夏季の観光コンテンツとして確立しつつあるなか、官民一体となって「誰でも気軽に楽しむことができる自転車環境づくり」を通じて、サイクルツーリズムによる経済効果をエリア全体に波及させ、北海道を代表するサイクルエリアを目指す。

主な活動

- ・快適で安全な自転車走行のための環境整備
- ・地域情報の発信
- ・地域自転車情報の一元化および発信
- ・日本を代表するサイクリングエリアを目指す取組
- ・他地域、サイクリングルートとの連携

構成団体

- ・蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町
- ・京極町、倶知安町、各町村観光協会、各商工会議所、商工会
- ・金融機関、J A ようてい、道南バス、ニセコバス (一般会員)
- ・民間企業、一般自転車愛好家 (オブザーバー)
- ・北海道開発局小樽開発建設部、北海道運輸局札幌運輸支局
- ・後志総合振興局、羊蹄山ろく消防組合
- ・羊蹄山麓7町村の交通安全協会

<活動計画>

<H30年>

- ・組織設立
- ・モデルコース設定、管理
- ・案内看板検証
- ・サイクルマップ
- ・ホームページ立ち上げ
- ・サイクリング情報の一元化
- ・サイクリスト交通安全啓発

<H31年>

- ・案内看板対応
- ・サイクルマップ
- ・ホームページ運営
- ・サイクリング情報の一元化
- ・サイクリスト交通安全啓発
- ・受入環境対応

<H32年>

- ・案内看板対応
- ・サイクルマップ
- ・ホームページ運営
- ・サイクリング情報の一元化
- ・サイクリスト交通安全啓発
- ・受入環境対応

<H33年>

- ・案内看板対応
- ・サイクルマップ
- ・ホームページ運営
- ・サイクリング情報の一元化
- ・サイクリスト交通安全啓発
- ・サイクルオアシス整備

<H34年>

- ・案内看板対応
- ・サイクルマップ
- ・ホームページ運営
- ・サイクリング情報の一元化
- ・サイクリスト交通安全啓発
- ・サイクルオアシス整備